



仙北市国民健康保険

第2期 保健事業実施計画（データヘルス計画）

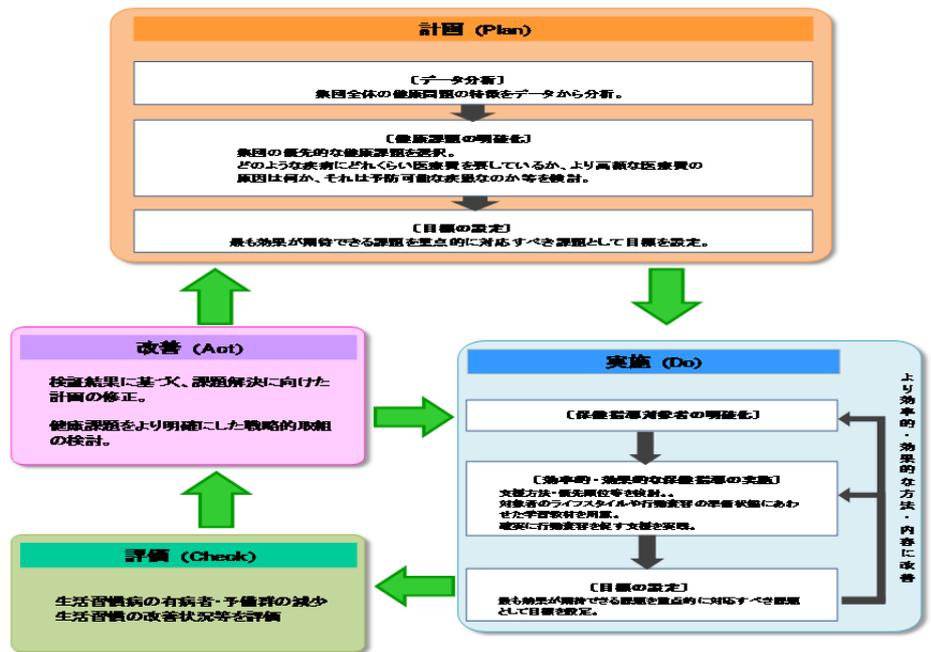
【概要版】 期間 平成30年度～平成35年度

データヘルス計画とは

「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）において、レセプト等のデータ分析に基づく被保険者の健康増進のための事業計画「データヘルス計画」による取組を求めるとされ、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」（平成16年厚生労働省告示第307号）の改正により、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を図るための計画を策定した上で、事業の実施及び評価を行うこととなりました。

本市国保事業においても、生活習慣病対策をはじめとする被保険者のための健康増進や医療費の適正化を目的として、レセプトや国保データベースシステム等の活用・分析を行いながら、保健事業の実施、評価、改善を展開する仙北市データヘルス計画を策定するものです。

保健事業（健診・保健指導）のPDCAサイクル



現状と課題・計画立案

Plan

※ 標準的な健診・保健指導プログラム(改訂版)図3 改善

仙北市の状況

- ・総人口は毎年減少し、特に平成24年度からは500人を超える数が減少し続けています。
- ・高齢化率では、県との比較では約3～4ポイント、全国とでは約10ポイント上回っており、平成28年度では差が広がり高い水準で高齢化が進んでいます。

医療の状況

- ・医療費では、平成27年度までは前年度比一人当たりの医療費は上昇傾向でしたが、平成28年度では、一人当たりの医療費は減少に転じました。
- ・外来の医療費は、高血圧・脳出血・脳梗塞が男女共に全国を高い割合で上回っています。
- ・入院の医療費は、男性では脳出血・心筋梗塞・透析が国や県より高く、女性では脳梗塞が国や県を高く上回っています。

健診の状況

- ・特定健診の受診率は、平成28年度実績では36.9%、保健指導の実施率（積極的・動機付け合算）は、4.6%少ない状況です。
- ・生活習慣病予備群としては、中性脂肪・コレステロール・血圧に関して、男女共に国や県を高く上回っており、尿酸は男性が高くなっています。

課題・目標

健康の課題

- ①高血圧、脳血管疾患、心疾患、脂質異常、糖尿病による疾病が高い
- ②特定健診受診率および特定保健指導の実施率の向上対策

保健事業の目標

- ①脳虚血性疾患死亡率の減少、虚血性心疾患死亡率の減少、糖尿病による合併症の減少
- ②高血圧の改善、脂質異常症の減少、糖尿病有病者の減少
- ③特定健診・特定保健指導実施率の向上、がん検診受診率向上、生活習慣病予防行動の実践

保健事業の実施

Do

特定健康診査（40歳～74歳）

メタボに着目した健診です。生活習慣病の発症と重症化の予防を目的に実施します。集団健診及び協力医療機関での個別健診の体制を整え、受診機会を多くしています。受診率が低下していることから、未受診者対策としての取り組みを実施します。

特定保健指導（40歳～74歳）

特定健康診査の結果から抽出した対象者に、保健師、栄養士、看護師による生活習慣を見直す支援を実施します。

特に、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防を目指し、継続的に支援していきます。

がん検診

がん検診の目的は、早期発見・早期治療により死亡する可能性を減少させることです。各種がん検診を受けやすくする体制を整え、啓発方法を検討することで、新規受診者や継続的受診者の増加を目指します。

訪問指導

特定健診並びに各種がん検診結果を基に、保健師、栄養士、看護師が訪問活動を実施し、受診勧奨や保健指導を行うことで、重症化の予防を図ります。

医療費通知（年6回）

医療機関別に医療費の額をお知らせするもので、被保険者が健康管理や受診行動への意識を高めることで、医療費抑制を図っていきます。

後発（ジェネリック）医薬品差額通知（年2回）

ジェネリック医薬品に切替えることで薬剤費の軽減につながる被保険者に、その差額をお知らせし負担軽減を図ります。

計画の評価

Check

データヘルス計画の評価は、国保データベースシステム等のデータを活用・分析しながら、PDCAサイクルに沿って保健師・栄養士を中心に関連部署が連携し、各指標の改善度を評価していきます。また、必要に応じて、国保連合会の保健事業支援・評価委員会の指導等を受けます。

計画の見直し・改善

Action

計画の最終年度に総合評価を実施することで、より効果的な内容に見直し次計画に反映させていきます。ただし、期間中においても、状況に応じて随時見直しを実施していきます。